

山行報告書

日時	2017年8月10日(木)～8月15日(火)		天候	11日～14日晴れ 時々雲発生
山名	北アルプス(表銀座)			
CL	A部	参加者	Z津 M澤 F田 T藤 S田	
(コース)	<p>8/10(木) 博多発(19:00)＝(車)＝JR穂高駅(7:50)</p> <p>8/11(金) JR穂高駅からバス(8:50)＝中房温泉登山口(9:30)～第二ベンチ(10:30)～ 屋食(12:10)～合戦小屋(13:10)～燕山荘(15:00)～燕岳(16:00)～燕山荘(16:40)</p> <p>8/12(土) 燕山荘(5:30)～喜作新道レリーフ(8:15)～大天井ヒュッテ(9:35)～赤岩岳(12:00)～ヒュッテ西岳(13:30)</p> <p>8/13(日) ヒュッテ西岳(5:00)～水俣乗越(6:00)～東鎌尾根～ヒュッテ大槍(9:00)～槍ヶ岳山荘(10:15)～槍ヶ岳山頂(12:10)～殺生分岐(13:20)～槍沢大曲(15:40)～槍沢ロッジ(17:00)</p> <p>8/14(月) 槍沢ロッジ(6:00)～横尾(7:30)～徳澤園(9:00)～上高地(12:20)＝(バス)＝新島島＝(私鉄)＝松本＝JR穂高駅＝穂高温泉(14:00)＝赤石商店(18:00)</p> <p>8/15(火) 赤石商店(8:00)＝伊那IC＝福岡IC(20:00)</p>			
(コメント)	<p>30年以上前に「槍ヶ岳には登ったことがありますが、表銀座ルートは今回が初めてでした。東鎌尾根で槍の穂先がどンドン近づいて大きくなって行く情景は「表銀座」の名前に想応しいと思いました。昨年は単独行での北アルプスでしたが、やはり仲間と一緒に登る方が感動が倍増する感じです。大変満足出来た山行でした。(A部)</p> <p>燕岳～大天井までは2回目の登山でした。天気が少々心配の出発で、車の中で「私はアルプスは何時もお天気、大丈夫！」と願いを込めて言ってしまいました。燕山荘のある屋根に登り着くと象牙の彫刻の姿態の燕岳と裏銀座の山々がパット目に入り、思わず後方の人に「凄い景色よ！～」と言っていました。西岳から槍ヶ岳～槍沢ロッジまでは初めての登山！大丈夫？槍ヶ岳登れる？いろいろ想像の世界……。三日目東鎌尾根はハンゴやクサリを頼りアップダウンし、狭い稜線を注意しながらの行程。青空に響え、だんだん迫ってくる槍ヶ岳の絶景に励まされました。いよいよ槍ヶ岳！ベテランから「頂上は初めての時、立ち上がれなかった」と聞いて(誰か登り口で掴まる人がいないかと……)と心配していましたが、ハンゴの終わりは取って高く、立って足を下せました。6畳位と聞いていましたが、20畳位あるかなど。恐いあまり感じませんでした。槍ヶ岳を登ってる途中と、そして頂上から小銃に岩登りしている人達が見れそれが驚きでした。二日目のヒュッテ西岳には13時30分頃着きゆっくり酒盛り。最後の民家ホテルではゆったりスペースの感じの良い居間で宴会でした。憧れの槍ヶ岳に登れ最高でした。(M澤)</p> <p>20年振りに北アルプスに登ってきました。初日、中房温泉からの登りは暑いながらもなんとか足は進んだのですが、合戦小屋で美味しい西瓜を食べてから足が動かなくなりました。「燕岳は北アルプスの初恋の山」とTVで聞いていましたが大失恋の辛さでした。それでも何とか燕山荘まで登りピンクのコマ草のお花畑・イルカ岩に迎えられて燕岳に登頂しました。燕岳は白と緑の美しい山でした。2日目で降も足が進まず私がブレキとなった山行でした。「予定時間内ですから。」とリーダーが言って下さり、他のメンバーから「ゆっくりに行った方がいいですよ。」と励まされやっと完登できました。東鎌尾根の迫力、長い槍沢の下りで小さくなって行く槍ヶ岳の山頂に立って幸せでした！みなさんありがとうございました。(F田)</p> <p>燕岳からの縦走路でだんだん槍ヶ岳が大きくなっている所はとても良かったです。時折ガスって見えなくなる時もありましたが十分満足出来ました。また槍ヶ岳から上高地までの道のりが長かったのもとても疲れましたが2日に分けて下山したのが救いでした。多人数でアルプスにこれだけでも楽しかったです。CLをしてくれたA部さんありがとうございました。(T藤)</p> <p>初めての北アルプス！車を運転して徹夜後の山行！4日間連続山行！東鎌尾根そして槍ヶ岳登れるか！出来るかと自分に聞いたが自信がない、それで7月毎週連続してトレーニング山行やっと思ひ槍ヶ岳目指した。燕岳は山の日でもあり若い人たちがあふれていました。2700mもあり山頂では10度Cぐらいとの情報もあり暑さ対策を甘くしたのが失敗で、なんと浮獄の地獄のトレーニング山行した平地より暑く汗が大量に出て昼食後は足が重くなり、合戦小屋でスイカを食べた後から足が悲鳴をあげつつが68でなんとか燕山荘に着いた。燕岳の山頂を雲が風に乗って流れる風景は目にあまる美しさ、素晴らしいの一言、今までの苦労が一瞬で吹き飛んだ瞬間でした。北アルプスの初恋の山と言われることはあると思いました。みんなでビールを飲んで酔って熟睡。朝は元気回復、朝日がまぶしく写真を撮るたくさんの方がいて、すがすがしい風景の中、大天井岳縦走に出発。槍ヶ岳の風貌がだんだん大きくなりながら雲に隠れたり、また違った縦走。これは世界一美しい縦走の名に恥じない風景を見ながらヒュッテ西岳に早く到着。ビールで宴会、早々と熟睡する。朝5時晴天、常念岳を朝日が染める中、槍ヶ岳を目指す。真っ赤に焼けて見える槍ヶ岳を見ながら東鎌尾根を数回の鉄階段を登りきり、槍沢をアリのように登る多数の登山者を下に見て山荘に登り切り槍ヶ岳に挑戦。労山ハイキングスクールで経験した3点支持で登り、頂上になつと雲が流れてきて周りが見えませんでした残念。下りはクサリがあり垂直下降で難なく無事下山、山荘のカレーを食べ、雪渓を見ながら槍沢をくだり槍沢ロッジに到着。翌日は徳澤園でソフトクリームを食べ平地な道を上高地まで行き新島島までバス・松本・JR穂高まで電車。その後穂高温泉で入浴後、古民家で最後の宴会宿泊翌日雨の中無事博多着。思っていた山行のきつさより軽かった感じで4日連続の山行も十分対応できると思った。見たことのない素晴らしい風景の山行でした。(S田)</p>			
費用概算	(交通費/人) レンタカー・高速代・ガソリン代	26,000円/人	(その他/人) 宿・JR・駐車場・他	34,000円/人
				合計60,000円

(2015.04.09改訂)

